

令和 6年度予算見積調書

課室名: 大気環境課
 担当名: 企画・監視担当
 内線: 3057

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P14	光化学オキシダント・PM2.5対策事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	青空再生推進費			
事業期間	平成27年度～	根拠法令	大気汚染防止法			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現		SDGsゴール	3, 12
						分野施策	1007	公害のない安全な地域環境の確保		SDGsターゲット	3-9, 12-7, 12-8
1 事業概要 埼玉県は光化学スモッグが発生しやすく、全国的にも発令日数が多く健康被害も報告されている。 また、微小粒子状物質(PM2.5)の濃度は改善傾向にあるものの、今後も環境基準を安定して達成するために、さらなる改善が必要な状況である。 そこで、光化学スモッグとPM2.5に共通する原因物質である揮発性有機化合物の削減対策を実施することで、光化学オキシダント及びPM2.5の濃度を改善する。 ア PM2.5発生源調査費 2,905千円 イ 揮発性有機化合物対策費 952千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア PM2.5発生源調査費 2,905千円 ばい煙発生施設(1施設)の排ガスを測定し、PM2.5の質量と成分を詳細調査 イ 揮発性有機化合物対策費 952千円 VOCサポート事業・アドバイザー派遣、セミナー開催、VOC排出事業所に対する個別指導 (2) 事業計画 原因物質であるVOC対策を継続して推進する。 (3) 事業効果 ア 光化学オキシダント及びPM2.5の汚染状況を改善し、これらによる県民の健康被害をなくす。 イ PM2.5の年平均値 目標: 10.0µg/m3(令和8年度) 実績: 9.7µg/m3(令和4年度) 【活動指標(アウトプット)】 排ガス中のPM2.5測定 1件 普及啓発に係るセミナー等 6件 【成果指標(アウトカム)】 発生源の判明、VOCの排出量削減							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費(細目) 環境保全対策費 (細目) 環境保全対策費(積算内容) 環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.3人=21,850千円											
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比		
決定額	3,857							3,857	△447		
前年額	4,304							4,304			

事業内訳書

事業名	光化学オキシダント・PM2.5対策事業費		
単位事業名	PM2.5発生源調査費	予算額	2,905千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	2,905	7	
合計	2,905	7	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	12	△69	PM2.5発生源調査に係る旅費
需用費	588	225	排ガス分析消耗品費
役務費	0	△114	
委託料	2,305	△12	業務委託
使用料及び賃借料	0	△23	
合計	2,905	7	

単位事業名	揮発性有機化合物対策費	予算額	952千円
-------	-------------	-----	-------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	952	△454	
合計	952	△454	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	131	20	事業者説明会講師謝金・交通費 削減対策指導アドバイザー謝金・交通費
旅費	84	△26	VOC削減対策指導等旅費
需用費	522	△2	削減対策指導に係る消耗品費 普及啓発リーフレット、ポスター作成費
役務費	177	141	普及啓発リーフレット、説明会通知に係る送料
委託料	0	△580	
使用料及び賃借料	38	△7	揮発性有機化合物対策に係る会場使用料

単位事業名	揮発性有機化合物対策費	予算額	952千円
-------	-------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	952	△454	